

パソコンの机 吉本秀之

机を探しています。

2年前に、マッキントッシュを買いました。それまでは、ご多分に漏れず、NECの98シリーズを使っていました。白黒画面のノートパソコンです。在外研究でロンドンに留学したときにも、そのノートパソコンを持っていきました。ブリティッシュ・ライブラリーでも、ロンドン大学の本部図書館でも、はたまたワールブルグ研究所の図書館でも、あちらの研究者はノートパソコンを館内に持ち込んで仕事をしていたので、私もあやかううと思いましたが、それには、当時のノートパソコンは重すぎました。結構重いよけいな電源アダプターも本体と一緒に持ち歩かなければならなかったので、なおさらです。

性能的に特に不満はなかったのですが、98ノートのキーボードのタッチだけは私には向きませんでした。マックに変えて、最初一番ありがたかったのは、この

キーボードのタッチです。98ノートと比べると、格段にキータッチが使いやすかった。最初に買ったのは、大学の研究費で買いました。使いやすいいということ、3ヶ月後に自分でも買いました。(マックシリーズでは、最悪に近い、7500に漢字トーク752でした。)

机だけは、いいものがほしいということで、大学院に入学したとき、かなり探し回って横幅120センチの事務机を買いました。私は、モニターの画面が高くなるのは好きではないので、その机に、デスクトップ型マック本体と17インチモニターを横置きにすることにしました。本体が右端、モニターが左端、キーボードが真ん中という風に配置しました。すると、広いと思っていた机の上が埋まってしまうました。

プリンターは、どこに置いたのですか？プリンターは当然、机の下です。キャノンが、レーザープリンターを個人でも使えるように安くしたその最初のものを机の下に

入れて使っています。

問題は机の上です。本を読むのは机の上で読むわけではないので、別に困らなかつたのですが、書き物をするのが困りました。パソコンを買ったからといって、書き物はすべてパソコンで、というのは、私のやり方ではなく、最初のイメージを作ったり、アイディアをラフスケッチするときには、2Bの鉛筆に罫線も何もない白紙です。鉛筆はもちろんステッドラーと言いたいところですが、筆圧の低い私には、むしろ日本のトンボや三菱のものの方が合うことがわかりました。

さて、全くの白紙と鉛筆を用意して、次にすることは、キーボードを本体の上に乗せることです。それで何とか書き物をするスペースだけは確保されるのですが、すると、資料を置く場所がありません。モニターの前に立てたり、専用の書見台を買ってきたりしましたが、あまりうまくありません。結局、きちんとした環境が整わないままなんとかやりくりするという事になってしまいました。

それ以来、インテリアのお店をまわったり、パソコンショップをまわったり、はたまたいろんな雑誌を買ってきて、ちょうどよいパソコン用の机はないかと探し回っています。机の上は、我々研究者の一番の作業場ですから、あまり妥協したくない。最近はやりのSOHO（Small Office Home Office）という事で、私の部屋に合わない馬鹿高いお金を出せば、結構良さそうなものがあるのではありません。

雑誌を飾る格好良い机の値段の高さと私自身の部屋の片づけが全く進まないことが合わさって、決断がつかないまま、ずるずると今に至っています。

そうは言っても、締め切りのある仕事は待つてくれません。現在は、昨年末に買ったコメットさん（マッキントッシュのノートパソコン。アメリカのアップル社と日本IBMの共同製作になるマックの世界では最小のノートパソコン）を、75X75cmの台所机の上において、作業しています。真ん中にコメットさん、右側に辞書、左側に翻訳する本のコピーを置いて、締め切りを1年過ぎた翻訳に没頭しています。これはこれで、実は、快適な作業環境であることがわかりました。翻訳も予想外に順調に進んでいます。

日本の狭い住環境を考えたら、小さなノートパソコンと台所机というのは、一つの正解だと思っています。この組合せは、これからパソコンを買おうと思っっている学生諸君や家庭で専用の勉強室を持たない方には、間違いなくおすすめの見返りでしょう。

しかし、私の部屋には、でかいデスクトップもあって、これを捨てるつもりはない。しかも、私はこの冬、ISDNダイヤルアップルーターというのを設置して、SOHO環境を自分のアパートに実現してしまつた。

ということ、ふりだしに戻っています。いい机がほしい。みなさんはパソコンの机をどうされていますか？